

令和 7 年 7 月

紀の川市ドローン社会実装推進コンソーシアム設立趣意書

近年、少子高齢化や人口減少の進行により、地方における農業、物流、インフラ維持、防災対応などの分野では、人手不足が深刻な課題となっています。特に山間部や過疎地域を有する自治体においては、持続可能な地域運営の実現が困難になりつつあります。

加えて、頻発する自然災害への備えとして、迅速かつ柔軟な初動対応体制の整備が求められており、災害時の情報収集や物資輸送といった分野でも、新たな仕組みの導入が急務となっています。

このような社会的背景を受け、近年著しく進展するドローン技術は、農業支援、インフラ点検、物流、災害対応など、さまざまな分野での利活用が期待されており、地域課題の解決と新たな産業創出を両立しうる有効な手段として注目されています。

こうした認識のもと、紀の川市及びソフトバンク株式会社は、地域の特性と先端技術の融合を図りながら、持続可能な地域社会の実現に向けたドローンの社会実装を推進するため、産官学の多様な主体との連携を前提とした「紀の川市ドローン社会実装推進コンソーシアム」の設立に取り組みます。

本コンソーシアムは、行政、企業、大学、研究機関、地域団体などが参加する開かれた連携プラットフォームとして、地域に根ざした社会実装モデルの創出と、将来的な事業化、人材育成、政策提言等につながる持続的な取組を推進し、紀の川市及び周辺地域を中心とした地域におけるドローン活用の社会実装を段階的かつ着実に進めるとともに、「持続可能で現実的な活用モデルの確立」と「他地域への展開可能な事例の創出」を目指すものとします。

紀の川市とソフトバンク株式会社は本コンソーシアムの設立を契機として、地域の課題解決と持続可能な社会づくりを先導するモデルケースとなるべく、積極的かつ実践的な取組を進めてまいります。

また、志を同じくする多様な主体との連携を通じて、ドローンの社会実装を共に推進し、地域の未来を共に創っていくことをここに表明いたします。

(設立発起人)

和歌山県紀の川市
ソフトバンク株式会社